

ブルーヒンメル



「これからの青少年健全育成活動」

猪名川町青少年健全育成推進会議 会長 太田 はるよ

今年は暖かい日が続き桜の開花も例年より早く、桜の中での卒業式が開催された所も多く見受けられました。昨年の今頃は、未知の新型コロナウイルスに世界中の人々が不安でいっぱいの日々を送っていました。特に子どもや若者たちは「ステイホーム」という合言葉のもと、「学ぶ」「遊ぶ」「体験する」等を制限され、本来ならばぐっと成長する時期をじっと我慢して過ごしていました。これからは2度の緊急事態宣言解除後の過ごし方をしっかりと考えて実践する時期と言えるでしょう。

この1年間で進んだネット環境の整備、リモートでの授業といったIT化は、これからの社会にとっては欠かせないことかも知れませんが、様々な課題や問題もあり、それだけでは生きていけません。次代を担う子どもや若者たちには自分で「考える」「決定する」「実践する」、自分の「言葉」でしっかり「伝える」といった力を育む時間と機会が必要だと思います。

また、失敗することや他人と違うことを恐れず自分に自信を持って生きていくためには、子どもや若者たちを支える大人の力が最重要であります。コミュニケーション能力不足が問われる今、その大人の力が試されているような気がしてなりません。

今後は、今まで以上に子どもや若者たちと「共に」しっかりと会話や対話のできる環境づくり中心の活動をしてまいりますので、これからも当団体の活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

子ども・若者たちの 「底力」を伸ばしたい

～青少年の居場所づくりとともに～

猪名川町青少年健全育成推進会議は令和3年3月11日、町内3つの中学校区委員会の委員などが参加する令和2年度全体会を開催し、この中で、NPO法人こうべユースネットの辻幸志理事長を講師に招き、青少年の居場所づくりとともに、子ども・若者の「生き抜く力」を考察する場として、合同研修会を実施しました。



講師
NPO法人こうべユースネット
理事長 辻 幸志 さん

居場所づくり実践の第一人者

講師の辻理事長は、1985年に神戸市兵庫区のジュニアリーダーとして子ども会活動の指導に務められたほか、1990年からは神戸市子ども会のジュニアリーダーとして活動され、現在は、神戸市青少年会館館長に在任中。本研修会では、子ども・若者の居場所づくり実践の第一人者である講師の青少年活動に広く携わる立場から、地域の大人が認識しておきたい「生き抜く力」を育成するためのポイントなどを教示していただきました。



3つの居場所

辻講師が紹介した参考文献によると、子ども・若者の居場所は、家庭（家）という第1の居場所、学校（職場）といった第2の居場所、そして「飛びつき居心地の良い場所」としての第3の居場所に区分され、3つ目は「サードプレイス」とも呼ばれ、青少年の様々な体験や多世代とのコミュニケーションを通して大人になるための準備をする「心豊かな人間関係」をつくるための居場所であり、ここでの大人の関わり方が重要となることをまずは押さえてほしいとされました。

ユースワークの視点を大切に

その関わり方には、「ユースワーク」という視点が大切。ユースワークとは、社会全体について学ぶことを手助けする非形式的な教育的活動であり、「楽しさ」「挑戦」「学び」を結び付けた青少年の主体性を大切に活動。一方で、不登校、ひきこもり、就労不安など社会から排除されがちな子ども・若者を対象とする福祉的なユースソーシャルワークという青少年支援事業があるほか、家でも学校でもない第3の領域としての「地域」にも青少年の居場所はあり、周りの大人は次のポイントを念頭に置き、接してほしいとされました。



ちびまる子ちゃんと 友蔵じいちゃん

一つは、文化人類学で定義された「冗談関係」であり、のびのびと人が育つために、緊張感ばかりでなく、くだらない冗談などを言い合える関係。社会全体で子どもを育てていく視点からも、地域における居場所づくりの中で、まるちゃんとおじいちゃんの間をモデルとしてほしいと助言されたほか、問題提起として、地域における子ども・若者の居場所には「行けるときに行けばいいやん」と緩く受け止められる「場所と人」が求められるのではないかとされました。

子ども・若者の「底力」

最後に、辻講師は、社会が変化しようとも、自らを律しつつ他人とともに協調し、思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育む「生きる力」や、厳しい挑戦の時代に未来を切り開いていく「生き抜く力」といった国や文献が定義している考え方はあるが、「私は、青少年自身が困難を克服する『底力』を伸ばしてやりたい」と力説。そのためには、青少年の心をいかに揺さぶり、いかに挑戦してもらおうことができるのかという応援スタイルを大切にしたいし、このことを踏まえた今後の猪名川町青少年健全育成推進会議の活動にも期待をしたいとまとめられました。

1年の あゆみ

[令和2年度年間活動日誌]

令和2年

- 5月 新委員交流会 (中止)
令和2年度総会 (書面決議)
- 6月 ほたるの夕べ (模擬店・パトロール) (中止)
- 7月 日生夏まつり (模擬店) (中止)
- 8月 オールジャンルフェス (中止)
- 11月 子ども・若者健全育成月間啓発活動 (中止)
第8回青少年フォーラム (中止)

令和3年

- 3月11日 第1回全体会

[その他の活動]

- ・役員会 (毎月)
- ・ブルーヒンメルの発行
- ・青少年指導員としてのパトロール (中止)
- ・阪神間及び町内の関係団体主催行事への出席

[連携活動]

- ・猪名川町青少年問題協議会
- ・こころ豊かな美しい兵庫推進協議会
- ・こころ豊かな美しい阪神北推進協議会
- ・猪名川町こころ豊かなまちづくり運動推進協議会
- ・猪名川町地域安全推進協議会
- ・ほたるの夕べ実行委員会
- ・安全・安心まちづくり川西猪名川住民大会への参加
- ・猪名川町 PTCA フォーラムの後援・参加
- ・猪名川町青少年指導員への出向

感謝

青少年の健やかな成長を願い、学校の先生やPTA、地域の方々、そして青少年とともに行った地域活動やボランティア活動などの取り組みを表彰していただきました。これまでの活動にご協力いただきました皆様に感謝いたします。これからもよろしく願いいたします。

兵庫県青少年本部表彰

指導者の部
田中 真江さん



令和2年9月26日
兵庫県民会館
けんみんホールにて

阪神北青少年本部表彰

青少年指導者の部
村上 千秋さん
山根 真理子さん



令和2年11月21日
宝塚市 ソリオホールにて



令和3年度 「シトラスリボン プロジェクト」に 取り組みます。(予定)

当たり前とっていた「ふだんの暮らし」を揺さぶっている新型コロナウイルス感染症。いつだってだれだって感染のリスクはゼロではありません。たとえ感染しても地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方や医療従事者が、それぞれの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりがあり暮らしやすい社会を目指す、愛媛県の有志グループ「ちょびっと19+」が進めるプロジェクトです。

猪名川町青少年健全育成推進会議は、家庭・学校・地域の方々、笑顔で「ただいま」「おかえり」と言えるひとの輪づくりを広げている「シトラスリボンプロジェクト」に賛同します。

編集後記

この一年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ほぼ活動ができませんでした。

その中でも役員会では、できることを模索してきました。3月には感染予防対策をしながらも全体会を開催できたことは、来年度へつなげることができたと思います。子ども・若者の「底力」を信じて、これからも活動を続けていきます。

発行

猪名川町青少年健全育成推進会議

(連絡先) 猪名川町生活部 こども課 青少年育成室

(電話) 072-767-6236

(ホームページ) <http://www.seisukai.jp>